

日本鋼管病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。 研究課題名 (研究番号)	腰椎椎間孔内ヘルニアに対するFED transforaminal inside-out法とoutside-in法の比較検討 (No.) 202104
当院の研究責任者 (所属)	松繁治 脊椎外科センター
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	腰椎椎間孔内ヘルニアに対して、内視鏡下椎間板摘出術を行う際に、transforaminal inside-out法とoutside-in法のメリット・デメリットをはっきりさせ、手術方法選択の際の選択基準を決めること。
調査データ 該当期間	2016年10月から2020年4月に腰椎椎間孔内ヘルニアに対して内視鏡手術を施行した患者さま。
研究の方法 (使用する試料等)	● 対象となる患者さま 上記期間内に当院で内視鏡手術を施行した患者さま ● 利用する情報 カルテの診療録、画像データ (XP、CT、MRI、手術動画など)
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	脊椎外科センター 松繁 044-333-5591 (代表)
備考	研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。